

水稲用初・中期一発処理除草剤

メガゼータ[®]

400FG

ドローンでの散布に適した新規製剤



真正正銘、少成分！

プロピリスルフロン
ピラクロニル

2成分

メガゼータ[®] 400FG



- ◆ 2成分の一発剤 ピラクロニルの配合により優れた速効性を発揮
- ◆ 難防除雑草に優れた効果 多年生雑草・SU抵抗性雑草に有効

適用と使用方法

2020年11月現在の登録内容

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 及び 多年生広葉雑草 アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後5日～ ノビエ3葉期 ただし、 収穫60日前まで	400g /10a	1回	湛水散布、 湛水周縁散布 又は 無人航空機による 散布
直播水稲	一年生雑草 及び ホタルイ、ミズガヤツリ ウリカワ、ヒルムシロ、セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	稲1葉期～ ノビエ3葉期 ただし、 収穫60日前まで			

主要雑草に対する使用適期

ホタルイ ヘラオモダカ ミスガヤツリ ウリカワ	3葉期まで
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生前から再生始期まで
オモダカ クログワイ コウキヤガラ	発生始期まで
シズイ	草丈3cmまで
アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生前まで

■プロピリスルフロンを含む農薬の総使用回数：2回以内 ■ピラクロニルを含む農薬の総使用回数：2回以内

ドローンによる散布例

AGRAS MG-1(DJI)もしくはMG-1K(クボタ)の推奨設定

薬剤名	飛行速度 (km/時間)	散布間隔	吐出量 (g/秒)	開度設定	インペラ回転数 (rpm)	圃場面積	散布時間	散布距離 (m)
メガゼータ 400FG	10	15m (片側7.5m)	17.2	45	600	10a	23秒	64
						20a	47秒	131
						30a	70秒(1分10秒)	195
						50a	117秒(1分57秒)	326
						80a	186秒(3分6秒)	518
						1ha	233秒(3分53秒)	649

AGRAS MG-1およびMG-1Kで使用する際は左記設定で散布してください。速度・開度・インペラ回転数を推奨設定表の数値以外に変更すると薬剤のドリフトにより周辺作物に葉害等の被害を与えるおそれがあり、また薬効不足や葉害を引き起こす原因につながります。また、AGRAS MG-1およびMG-1K以外の機体にはこの推奨設定表は使用できません。

上手な使い方

<p>均平化作業・植付けはていねいに!</p> <p>田面が凹凸していると薬剤が均一に広がらず、効果不良・葉害の原因になることがあります。</p>	<p>移植深度は適正に!</p> <p>極端な浅植では根が露出し葉害原因となります。根が土壌中に隠れるよう、適正な移植深度に田植機を設定してください。</p>	<p>散布時の注意!</p> <p>散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態(水深5~6cm)で散布してください。また、極端な浅水や深水での使用はさけてください。</p>	<p>散布後の注意!</p> <p>散布後3~4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は、落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。</p>
--	--	---	--

使用上の注意事項

- 雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに時期を失しないように使用してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にブレが出るので、必ず適期に使用するようご注意ください。
- 藻類または表層はく離の発生しやすい水田では、有効な剤との組み合わせで使用してください。
- 苗の植え付けが均一になるように整地、代かきはていねいに行い、ワラクすなどの浮遊物はできるだけ取り除いてください。また、未熟有機物を施用した場合は特にていねいに行ってください。
- 散布に当たっては、水の出入りを止めて5~6cmの湛水状態に保ってください。散布後、少なくとも3~4日間は通常の湛水状態を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないようにし、また、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。自然減水により田面の一部が露出するようになったら、水戻りを止めて通常の水深になるまで水を入れて水口を閉じてください。
- 葉や浮き草が多発している水田では拡散が不十分となり、部分的な葉害や効果不足の可能性があるので使用をさけてください。
- 直播水稲で使用する場合、稲の根が露出する条件では葉害を生じることがあるので注意してください。
- 以下のような条件では葉害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。特に、処理時または処理後数日以内に異常高温が重なる場合は、初期生育の抑制が顕著になるので注意してください。
 - 砂質土壌の水田および漏水の大きな水田(減水深が2cm/日以上)
 - 軟弱な苗を移植した水田 ●極端な浅植の水田
- 梅雨期等、処理後に多量の降雨が予想される場合には、除草効果が低下することがあるので使用をさけてください。
- 移植前に生育したミスガヤツリには効果が劣るので、物理的防除方法などを用いて移植前に防除してから使用してください。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のもまでは十分な効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- その殺草特性から、いくさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意してください。

- いくさ栽培予定水田では使用しないでください。
- 使用した水田の田面水は、他作物の湛水に用いないでください。
- 散布薬剤の飛散によって、他の作物に葉害等の被害を与えるおそれがあるので十分留意してください。
- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

〈無人航空機による散布時の注意〉

- 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため、圃場の端から7.5m以上離れた位置からほ場内に散布してください。
- 周辺環境への農薬飛散を低減するため、以下の点に留意してください。
 - ①風向きを考慮して飛行経路を設定してください。
 - ②空中散布の実施は、気流の安定した時間帯に、かつ、地上1.5mにおける風速が3m/s以下の場合行ってください。
 - ③飛行高度は作物上2m以下の範囲で行ってください。
 - ④他作物や有機農産物の生産圃場および散布対象以外の作物等に危害が及ぶおそれのあるところは散布しないでください。
 - ⑤散布対象以外の作物やハウスに向けて飛行させないでください。
- 飛行する農地周辺に接近する可能性のある人や車両へのドローンの衝突リスクを回避するため、飛行区域の外側に干渉区域を設定してください。
- 「無人マルチローターによる農薬の空中散布に係る安全ガイドライン」の留意すべき事項を遵守せず散布した場合、散布薬剤の飛散によって他の作物に葉害等の被害を与えるおそれがあるので、十分注意してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

02R11K20M23:ZS

2020年11月作成(全新企画社)

大地のめぐみ、まっすぐ人へ
SCA GROUP

住友化学

〒104-8260 東京都中央区新川2丁目27番1号

お客様相談室 0570-058-669

農業支援サイト 農力 <https://www.i-nouryoku.com>

